

サッカーの活動における 暴力根絶に向けて

JFA リスペクト フェアプレー デイズ 2014 差別、暴力のない世界を！

日本サッカー協会(JFA)は、サッカーやスポーツの現場で顕在化するさまざまな差別や暴力に断固反対し、差別や暴力のない世界をつくるべくさまざまな取り組みを行っており、その活動の一環として、「JFA リスペクト フェアプレー デイズ 2014 差別、暴力のない世界を！」を設置しました。同期間、JFAではさまざまな活動を実施し、リスペクト(大切に思うこと)、フェアプレーの精神を共有し、また差別や暴力に断固反対するメッセージを広く伝えました。

趣旨：

サッカーやスポーツの現場で顕在化するさまざまな差別や暴力に反対、撲滅する意思を強く示し、これらの問題発生を未然防止するよう、啓発を行う

期間：2014年9月5日～14日

[参考]2014 FIFA Fair Play Days
9月1日～9日

対象：サッカーファミリー等

【活動内容】

(1) 両チームキャプテンによる差別、暴力根絶宣言(以下、該当試合)

試合前に、両チームのキャプテンが差別、暴力根絶に向けた宣言を読み上げました。各カテゴリーの代表戦、トップリーグで活躍する選手からのメッセージを、多くの関係者、サッカーファンへ届けました。

①日本代表戦

SAMURAI BLUE・キリンチャレンジカップ
2014(9月5日：札幌、9日：横浜)
なでしこジャパン・なでしこWORLD
MATCH(9月13日：山形)

②JリーグのJ1・J2・J3の各試合(9月13日、14日開催)

③Fリーグの各試合(9月13日、14日開催)

④その他(各種連盟、各都道府県サッカー協会主催大会などでの活動)

(2) 上記試合におけるプロモーションビデオ上映、バナー掲示

プロモーションビデオは、Jリーグ、なでしこリーグ、Fリーグの協力のもと、各リーグ所属選手からのメッセージを束ね、差別や暴力にサッカーは闘う姿勢を示した構成となっており、各

試合・リーグの試合会場や各種講習会・研修会で上映し、啓発・普及を図りました。また、ロゴのバナーも各リーグ所属チーム(赤バナー)、都道府県サッカー協会(白バナー)に配布し、大会・リーグ・講習会・研修会等で掲出しました。

参照URL：http://www.jfa.jp/football_family/respect_fairplay/

(3) 日本代表戦(インターナショナルマッチデー)で審判団および両チームの選手がリスペクトスリーブバッジを着用

これまで日本国内の審判員はリスペクトスリーブバッジを着用していましたが、今回新たな取り組みとして、FIFAフェアプレーデイズ期間内(9月1日～9日)に開催された日本代表戦で、審判団および日本代表チームの全選手、対戦チームの全選手が着用してプレーしました。

(4) 一緒に考えよう！シンポジウム開催

JFAとしての宣言のほか、サッカー関係者、法務省や他競技からのゲストも招き、さまざまな観点から差別や暴力の問題について議論し、「差別、暴力のない世界をつくる」ためにサッカー界として何ができるかを考えました。

日時：2014年9月6日 14:00～17:00

会場：日本サッカーミュージアム内
ヴァーチャルスタジアム

参加者：登録指導者、登録審判員、地域／都道府県サッカー協会関係者、その他

内容：

【第1部】

- ・JFA 差別、暴力根絶に対する宣言
大仁邦彌(JFA会長)

- ・基調講演I

「Jリーグの取り組み、姿勢について」
大河正明(Jリーグ常務理事)

- ・基調講演II「人権について、取り組み事例」
法務省人権擁護局

【第2部】

- ・パネルディスカッション
(差別、暴力のない世界を！)



9月6日に開催したシンポジウムの第2部・パネルディスカッションの様子
©Jリーグフット

モデレーター：

松崎康弘(JFAリスペクト・フェアプレー委員長)

パネリスト：

上川徹(JFA審判委員長)

羽中田昌(元サッカー選手、サッカー指導者)

山口隆文(JFA技術委員長(育成担当))

ヨーコ・ゼッターランド

(元バレーボールアメリカ代表選手、指導者)

(5) 参加しよう！フォトキャンペーン企画

サッカーやスポーツの現場で顕在化するさまざまな差別や暴力に反対、撲滅する意思を強く示し、これらの問題発生を未然防止するよう、サッカーファミリーが主体的にアクションを起こし、本キャンペーンに“参加”することを目的としました。JFAや選手だけでなく、サッカーに関わる皆さんと一緒に取り組みました。

キャンペーン内容：

キャンペーンロゴを持って、既定のメンバーで撮影した集合写真をJFA公式Webサイトなどで紹介

応募詳細：

下記の要領で写真を撮影し、ご応募いただきました。

1. キャンペーンページからリスペクトロゴとリスペクトシンボルをダウンロード・プリントアウト
2. ①から⑤のメンバー全員を集め、リスペクトロゴとリスペクトシンボルを持った写真を撮影(①選手、②監督、指導者、③審判(審判服着用)、④サポーターや家族、⑤その他チームの活動を支えていただいている方)
3. 写真とチーム名などの詳細情報を

「respect_fairplay2014@jfa.or.jp」に送付

掲載期間：
2014年10月1日から掲載(予定)

本デイズ期間後も、継続してリスペクト・フェアプレー精神の啓発・普及活動、差別や暴力の問題に迅速に対応するための環境整備に取り組んでいきます。引き続き皆さまのご協力をお願いします。

本デイズの詳細等につきましては、次号でお伝えします。